

第4回会長の時間 会員増強月間について H28.8.04

いろんなイベントのありました7月も終わり、いよいよ8月になりました。

ロータリーでは、8月は会員増強・拡大月間です。本日はこの会員増強につきましてふれてみたいと思います。先日7月23日の家族花火観覧会には、多数ご参加頂きありがとうございました。芥川委員長を初めとして親睦委員会の皆様には大変お世話になりました。改めてお礼を申し上げます。こういった、親睦行事は、家族を含めた交流が深まり、退会の防止にも役立つと考えます。

宇部ロータリークラブの会員数は現在46名で、あと1名の新規会員が予定されております。会員は、最低年齢43歳、最高年齢89歳、平均年齢64.5歳です。年齢構成では、一番多いのが60歳代で22名、次いで70歳代の13名、50歳代の7名になります。今年度中に何とか50人台（できれば52名を目標に）会員増強をしたいと思います。こう話している間にも、ロータリアンは1歳ずつ年齢を重ねており、会員の自然減（死亡、病気、退職、転勤等の止むを得ない理由による退会）は、平均すれば会員総数の5～10%ほどといわれています。そこでクラブを維持するためには、どうしても新会員の補充が必須となります。新会員が入るとクラブは良い刺激を受け、活性化されるメリットもあります。

話は古くなりますが、会員増強は昔からある問題です。1921年RI会長は、「今までロータリーという団体の真の目的を知らずに入会する人は多くいました。ロータリーの知識に乏しい人を会員に迎えたクラブは結果的に弱くなっています。」そして1969年RI会長は、「ロータリアンの年齢層は少しずつ高くなってきており毎年会員が10%ずつ減っています。この減少を補いつつクラブを強化するには優秀な若手会員を何千人も連れてきて年齢層のバランスを良くする必要があります。」さらに、1978年RI会長は、「私たちは優秀で積極的に参加してくれそうな新会員を入会させれば、それが会員増強だと思っていますが、その人たちにやる気をおこさせ、やりがいのあるプログラムに参加させる機会を与えなければ、いずれ知らない間に彼らはいなくなります。」と会員増強に関して厳しいメッセージを残しています。

また、2010年RI会員増強理事がこう書いています。「ロータリーはすでに全盛期を失ってしまったのか、いずれその機能を失ってしまう危険をはらんでいるのか」という問題提起をし、つまりいずれは消えてしまう存在なのではないかという危機感が述べられております。すなわち、国際ロータリークラブは2003年6月末時点で約31,000クラブにおよそ120万人の会員が世界中にいました。7年後の2010年6月末の時点では34,000のクラブで120万人です。3000のクラブ数が増えたにもかかわらず会員数はほとんど増えていません。またこの

7年間のあいだに世界のロータリークラブは110万人の新会員を迎えていたということが判明しました。従って、会員数が120万人しかないのに110万人もの新入会員を迎えていたというショッキングな事実です。すなわち入ってきて2～3年ですぐにやめていくパターンが大変多いと書かれていました。

そして現在、世界にあるロータリーのクラブ数は35247 会員総数123万5100人です。(2016.3.31) ちなみに日本のロータリーのクラブ数は2269 会員数89141人です。日本のロータリーの会員数は平成8年の131000人をピークに現在はその約68%にまで減少しています。今や、会員増強は、国内外を問わず、喫緊の問題です。

そこで、今年度2710地区の会員増強委員会は、8つの目標を掲げました。

1. クラブ会員基盤の拡大かつ多様化リーダーの育成とクラブの革新性や柔軟性を育む
2. 会員増強には、まずは元気なクラブづくりが必要。即ち、毎年目標を立て、それを達成して、クラブと地域社会に貢献していることを実感できるような元気なクラブ作りを目指す
3. RI会長が示した数値目標を鑑み、純増2人/クラブを達成する
4. 多様な業種及び女性会員の入会を推進
5. 入会候補者向けの説明会を開き、ロータリー会員になるメリットを紹介、さらに、ロータリー奉仕活動や懇親会への招待
6. 新会員オリエンテーションや研修セミナーを開き、ロータリーの歴史、奉仕部門、ロータリー財団等の情報を提供し、ロータリーへの理解を深める
7. 「職業分類」の意義の再認識と見直しに基づく増強活動の推進
8. ロータリー会員が誇りを持つため、新会員に「Proud Member ステッカー」を贈呈する

が謳われておりますが、私は、会員増強・拡大に王道はないと思います。

さて、国際ロータリーの調査では、入会した理由となっているのは「地域社会への奉仕」と「親睦・友情」でした。まだロータリークラブに入会していなくても、同じような機会を探している人が大勢いるはずです。そのような方々をロータリーの奉仕プロジェクトや親睦イベントや卓話者に招き、ロータリーを実際に体験してもらうのが重要です。より良く地域社会づくりに貢献できるのがロータリークラブであることを是非市民にアピールしたいと思います。身近なところにも入会候補者がきつといるはずです。昨年度、開業医の金子法子さんに入会して頂きましたがこれからも女性会員はとても重要な存在になるでしょう。また、友人や近隣の住民、職場や仕事を通じての知人、ロータリー

クラブの奉仕活動やイベントでボランティア活動をしたことのある人、以前に会員だった人、ロータリーのプログラムに参加したことのある若い人たち（元ローターアクト、元RYLA、元青少年交換など）及びJC卒会者をターゲットとして新入会員を発掘したいと思います。実際の統計で、今までロータリーの入らなかった理由として多かったのは、「声を掛けてもらえなかった」ということでした。是非、友人や仕事で知り合いになった方には、「ロータリーに入会しませんか？」と気軽に声を掛けてみて下さい。

本日は、会員増強についてお話ししました。